

静岡県連・40周年記念山行報告書

会名	裾野麗峰山の会	報告者	後藤隆徳
年月日	2005年12月03日(土・晴)		
山名	戸田・達磨山(982m)西尾根		
地図	達磨山(2万図に拡大)		
体力度=楽 技術度=楽 藪漕ぎ度=少しある 道標=全くない 展望度=富士山・駿河湾・南アルプス 三角点=三等三角点 頂上携帯=OK			
旧戸田峠と達磨越え			
コースと タイム	修善寺—戸田峠—新田—西尾根取り付き7:30—西伊豆山稜10:25—達磨山10:45—達磨山南836m峰10:15—雉尾11:30~12:45—新田14:30		
標高差	上り=新田170m~達磨山982m=約812m 下り=同上		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子		

先週、「雉尾」から達磨山に上れなかったので再び目指す。今回は達磨山北に新田から伸びる尾根を上り、達磨山に達し伊豆山稜線から「雉尾」に下る作戦を立てた。修善寺から戸田峠を下り達磨橋手前を左に入るとすぐ沢と橋がある。そこが今回の尾根の末端で取り付きである。

具合良く道もある。ひと上りで林道を横切り本格的な上りになる。例によって右は自然林、左は人工林だ。林床は綺麗でグングン上る。約400mで再び大きな林道に出る。先週下った林道の延長だ。ただ、尾根の「のり面」が余りに大きく全く上れない。仕方がなく左にかなり歩き急で不安定な斜面をこなし、やっと尾根に戻る。これでは動物も行き来が出来ず困るだろう。そんな事を全く考えない林道作りには怒りを覚える。

再び快調に上る。上はいい自然林が続く。800m付近で右から立派な「道」が上がって来ていた。かつて多くの人が往来したような道だ。カーブには石垣が積んである。苔むしてはいるが全く問題はない。私の勘では、この道はかつて戸田と修善寺を結んでいた峠道だったのではないか。

事実今の2万5千図には峠の東の修善寺側の湯船川上流にはルート記号がある。これは一種の「遺跡」だ。貴重な物を発見した。いずれしっかり調査しよう。伊豆山稜線が近づくと展望が素晴らしい。駿河湾は風が強く波が高い。富士山は真っ黒い雲がグングン流れ荒れ模様だ。

案の定、道は達磨山北のコルにピッタリ出た。間違いなく古の峠道である。これを復活させれば立派なハイキングコースになるだろう。コルから達磨山まで一投足。軽く休憩後、南に下がり「雉尾」からの尾根の取り付きに向かう。

836mから適当に藪を漕ぐ。笹を掻き分けグングン下る。同じ藪でもヤッパリ下りは凄く楽だ。前回最高到達点に簡単に達し「雉尾」に到着。満足満足。ここから先週上った尾根を下る。



十呎を目て 836mからのT



